

## 第14回日本認知症ケア学会に参加して

玉置 三奈代

### 1. 今回のポスター発表をしようとした動機を教えてください。

発表のきっかけは、自分自身が利用者さんとのコミュニケーションをより良くしたいと考えたからです。そして、短大のゼミ生から参加していた日本認知症ケア学会で自分の学んできた回想法や、ライフレビューブックを活用して、利用者さんとの思い出を語る大切さを実践研究でまとめて発表したいと思いました。

### 2. 発表する事で学んだことを教えてください。

今回の発表を通して、利用者さんとのコミュニケーションにおいて思い出を語ることの大切をしっかりと考える機会となりました。そして、回想法やライフレビューブックには、受容、共感、傾聴の聴く姿勢が重要であり、よい聴き手になることを学びました。

また、今回で日本認知症ケア学会大会は三回目の参加でしたが、ポスター発表は初めてでした。本当に自分の実践研究を他者の方々に伝える難しさを学びました。内容を分かりやすく、関心を持っていただけるには、どう伝えるか、何度も練習しながら悩んだ時もありました。他者の方々に伝えることは、勇気がいりました。しかし、発表を経験することで、最後まで取り組んでよかったという充実感でいっぱいです。特にポスター発表をすることで、当日参加している方々と研究の効果だけでなく、発表に至るまでの悩みや、実践したことの喜びなどを話し合い、共感ですることができ、本当に発表することで、実践を伝える大切さを学びました。

### 3. 今後は今回の発表をどのように今後生かしたいですか。

今後も利用者さんのケアがより良くなることを第一に考え、回想法、ライフレビューブックを用いた研究を続けたいです。そして、多くの介護現場に生かしていけるよう、努力したいと思っております。今後は、今回の発表でご意見を頂いたことや、学んだことを生かし、スモールステップアップを合言葉に成長していきたいと思っています。